

変額個人年金保険(外貨建年金原資保証型2015) I型/II型

キャッチポイントV

CATCH POINT

特別勘定運用レポート

2025年1月発行

ソニーライフ・ウィズ生命保険株式会社は、2021年4月1日にソニー生命保険株式会社と合併いたしました。

<特別勘定運用レポートについて>

- ・当資料は、ソニー生命のご契約者等へ変額個人年金保険の運用状況等に関する情報提供を目的として作成したものです。運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・特別勘定が投資するファンドの運用状況に関する開示情報は、当該ファンドの運用会社が作成した運用報告をソニー生命が提供するものです。
- ・生命保険の募集を目的とした資料ではありません。
- ・記載内容は、発行月の前月末時点の情報を基に作成しています。
- ・ファンド名等の表記や投資対象等は、「特別勘定のしおり」等と異なる場合があります。

特別勘定の種類

【特別勘定（基本部分）】

契約通貨	米ドル		豪ドル			
	7年	10年・15年	7年	10年・15年		
据置期間	7年	10年・15年	7年	10年・15年		
特別勘定名称	リスクバランス型 2016（10A-5）	リスクバランス型 2015（10A-2）	リスクバランス型 2016（11A-7）	リスクバランス型 2015（11A-3）		
目標ボラティリティ	年率4%	年率6%	年率5%	年率7%		
主なファンド	リクソー リスク・バランス・ゴールド・ フィーダーファンド4 （クラスUSD）	リクソー リスク・バランス・ゴールド・ フィーダーファンド6 （クラスUSD）	リクソー リスク・バランス・ゴールド・ フィーダーファンド5 （クラスAUD）	リクソー リスク・バランス・ゴールド・ フィーダーファンド7 （クラスAUD）		
主なファンドの 運用方針	各ファンドは、リクソー リスク・バランス・ゴールド・マスターファンド（以下「マスター・ファンド」といいます）への投資を通じ、実質的にリスク・ベースによる機動的な資産配分とポートフォリオに対するボラティリティ・コントロールを行うことにより、信託財産の着実な成長と安定的な収益の確保をめざして運用を行います。 フィーダー・ファンドおよびマスター・ファンドはジャージー籍の外国投資法人です。マスター・ファンドを通じ、公社債等、株価指数先物取引や債券先物取引、商品指数先物取引等を実質的な主要取引対象とします。					
ファンドの構成	資産種類		リスク配分		投資対象（先物）	
	株式	日本株式	50%	50%/3	日経225	
		米国株式		50%/3	S&P500種	
		欧州株式		50%/3	ユーロ・ストックス50指数	
	債券	米国債券	40%	20%	米国10年国債	
		欧州債券		20%	ドイツ10年国債	
	ゴールド		10%	10%	金	
キャッシュ		-		マネーマーケット商品（米国）		
資産運用関係費用*1	年率0.34%程度（非課税）					
運用会社*2	SGクラインオート・ハンブロス・コーポレート・サービスズ（シーアイ）・リミテッド					

*1 特別勘定（基本部分）の資産運用関係費用は、主たる投資対象である外国投資法人（ジャージー籍）の管理費用等を記載しております。このほか、有価証券等の売買取引に伴う手数料等がかかる場合がありますが、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。これらの費用は特別勘定がその保有資産から負担するため、特別勘定のユニットプライスに反映されることになります。したがって、ご契約者にはこれらの費用を間接的にご負担いただくことになります。資産運用関係費用は運用手法の変更や運用資産額の変動などの理由により、将来変更される可能性があります。資産運用関係費用につきまして、詳しくは「特別勘定のしおり」をご確認ください。

*2 当運用レポート作成時点において、当社との間の資本関係および人的関係はありません。

特別勘定の種類

【特別勘定（成果部分）】

契約通貨	米ドル	豪ドル	
特別勘定名称	リスク選好型（10A-3）	リスク選好型（11A-4）	
目標ボラティリティ	年率8%	年率8%	
主なファンド	リクソー・インベストメント・ファンズ・フレキシブル・アロケーション クラスA S（米ドル）	リクソー・インベストメント・ファンズ・フレキシブル・アロケーション クラスA S（豪ドル）	
主なファンドの運用方針	当ファンドは、リスク・ベースによる機動的な資産配分とポートフォリオに対するボラティリティ・コントロールにより、信託財産の着実な成長と安定的な収益の確保をめざして運用を行います。当ファンドはルクセンブルク籍の外国投資法人です。公社債や上場投資信託証券を主要投資対象とし、株価指数先物取引や債券先物取引、商品指数先物取引等を主要取引対象とします。		
ファンドの構成	資産種類		
	株式	日本株式	日経225
		米国株式	S&P500種
		英国株式	FTSE100種総合株価指数
		欧州株式	ユーロ・ストックス50指数
		新興国株式	MSCI新興国株価指数
	債券	米国債券	米国10年国債
		英国債券	英国10年国債
		欧州債券	ドイツ10年国債
		カナダ債券	カナダ10年国債
コモディティ		金・銅・原油	
クレジット		米国ハイイールド指数ETF 欧州ハイイールド指数ETF 新興国債券指数ETF	
株式		低ボラティリティ株式スワップ（欧州） クオリティ株式スワップ（欧州） モメンタム株式スワップ（欧州）	
資産運用関係費用*1	年率0.85%程度（消費税対象外）		
運用会社*2	アムンディ・アセットマネジメント		

- *1 特別勘定（成果部分）の資産運用関係費用は、主たる投資対象である外国投資法人（ルクセンブルク籍）の管理費用等および信託財産に関する租税（年次税）を記載しております。このほか、有価証券等の売買取引に伴う手数料等がかかる場合がありますが、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。これらの費用は特別勘定がその保有資産から負担するため、特別勘定のユニットプライスに反映されることとなります。したがって、ご契約者にはこれらの費用を間接的にご負担いただくこととなります。資産運用関係費用は運用手法の変更や運用資産額の変動などの理由により、将来変更される可能性があります。資産運用関係費用につきまして、詳しくは「特別勘定のしおり」をご確認ください。
- *2 当運用レポート作成時点において、当社との間の資本関係および人的関係はありません。

ご注意：

- ・積極運用コース（Ⅱ型）を指定された場合、運用成果相当額が初めて特別勘定（成果部分）に移転された時から、特別勘定（成果部分）の資産運用関係費用をご契約者にご負担いただきます。
- ・運用成果受取コース（Ⅰ型）を指定された場合、特別勘定（成果部分）の資産運用関係費用のご負担はご契約者にはありません。
- ・特別勘定（成果部分）の資産種類における地域および投資対象等は、将来変更されることがあります。

【特別勘定（特約部分）】

契約通貨	米ドル	豪ドル
特別勘定名称	マネーパール型（10A-4）	マネーパール型（11A-5）
主なファンド	ファンドは利用しておりません。	
運用方針	外貨建預貯金および短期金融商品を主要運用対象とし、資金動向ならびに市場動向等に配慮するとともに、流動性を確保しながら安定運用を行います。	
資産運用関係費用	かかりません。	
運用会社	ソニー生命保険株式会社	

ご注意：

- ・特別勘定（特約部分）の投資対象および運用会社は、将来変更されることがあります。
- ・当社以外の運用会社を利用した場合に、資産運用関係費用が控除されることがあります。

リスクバランス型2016（10A-5）

■ ユニットプライス推移グラフ



■ 設定日

2016年10月14日

■ ユニットプライス

2024年12月末

125.58

最高値	最低値
'24/12/15	'16/12/05
127.70	98.39

■ 資産状況

	残高(千円)	構成比
ファンド	37,999	97.99%
現預金等	780	2.01%
合計	38,780	100.00%

※残高は単位未満を切り捨て、構成割合は小数第3位を四捨五入して表示しています。

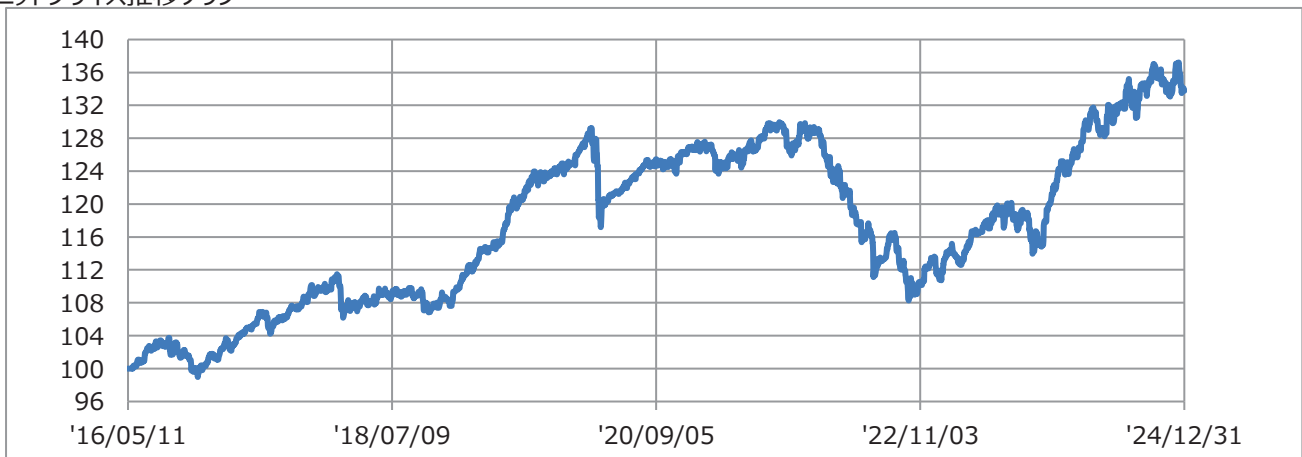
■ 騰落率

1か月前	3か月前	6か月前	1年前	設定来
-0.38%	-1.30%	1.64%	6.17%	25.58%

※騰落率は、ユニットプライスを元に「騰落率 = { (終了日の価格 - 開始日の価格) ÷ 開始日の価格 } × 100」と計算し、小数第3位以下を切り捨てて表示しています。

リスクバランス型2015（10A-2）

■ ユニットプライス推移グラフ



■ 設定日

2016年5月11日

■ ユニットプライス

2024年12月末

133.75

最高値	最低値
'24/12/15	'16/12/05
137.19	98.97

■ 資産状況

	残高(千円)	構成比
ファンド	134,922	97.80%
現預金等	3,035	2.20%
合計	137,957	100.00%

※残高は単位未満を切り捨て、構成割合は小数第3位を四捨五入して表示しています。

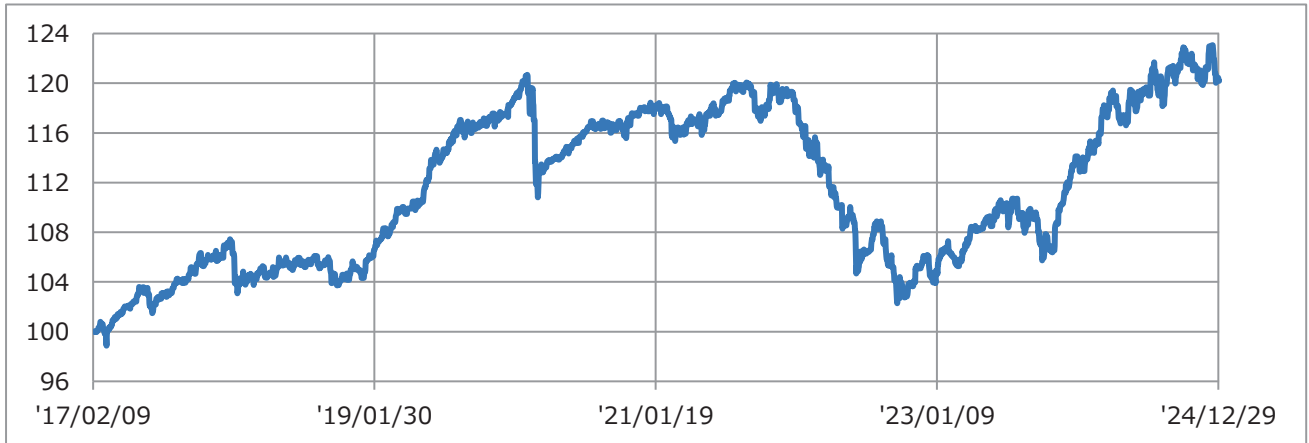
■ 騰落率

1か月前	3か月前	6か月前	1年前	設定来
-0.71%	-2.37%	1.32%	6.82%	33.75%

※騰落率は、ユニットプライスを元に「騰落率 = { (終了日の価格 - 開始日の価格) ÷ 開始日の価格 } × 100」と計算し、小数第3位以下を切り捨てて表示しています。

リスクバランス型2016（11A-7）

■ ユニットプライス推移グラフ



■ 設定日

2017年2月9日

■ ユニットプライス

2024年12月末

120.19

最高値	最低値
'24/12/15	'17/03/15
123.05	98.86

■ 資産状況

	残高(千豪ドル)	構成比
ファンド	782	94.92%
現預金等	41	5.08%
合計	824	100.00%

※残高は単位未満を切り捨て、構成割合は小数第3位を四捨五入して表示しています。

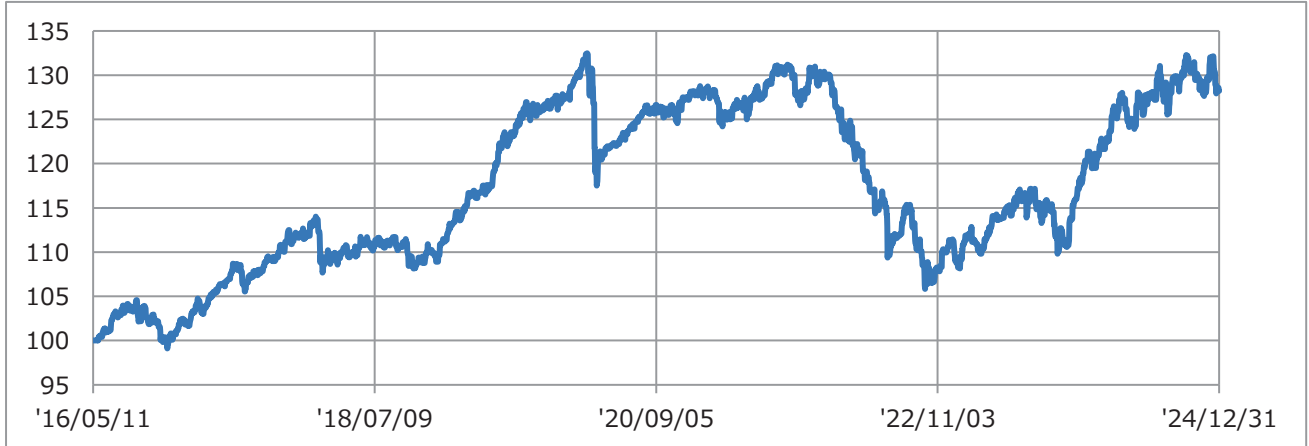
■ 騰落率

1か月前	3か月前	6か月前	1年前	設定来
-0.74%	-2.19%	0.67%	5.32%	20.19%

※騰落率は、ユニットプライスを元に「騰落率= { (終了日の価格-開始日の価格) ÷ 開始日の価格 } ×100」と計算し、小数第3位以下を切り捨てて表示しています。

リスクバランス型2015（11A-3）

■ ユニットプライス推移グラフ



■ 設定日

2016年5月11日

■ ユニットプライス

2024年12月末

128.21

最高値	最低値
'20/02/25	'16/12/05
132.47	99.11

■ 資産状況

	残高(千豪ドル)	構成比
ファンド	329,960	97.75%
現預金等	7,601	2.25%
合計	337,562	100.00%

※残高は単位未満を切り捨て、構成割合は小数第3位を四捨五入して表示しています。

■ 騰落率

1か月前	3か月前	6か月前	1年前	設定来
-0.94%	-3.05%	0.39%	5.65%	28.21%

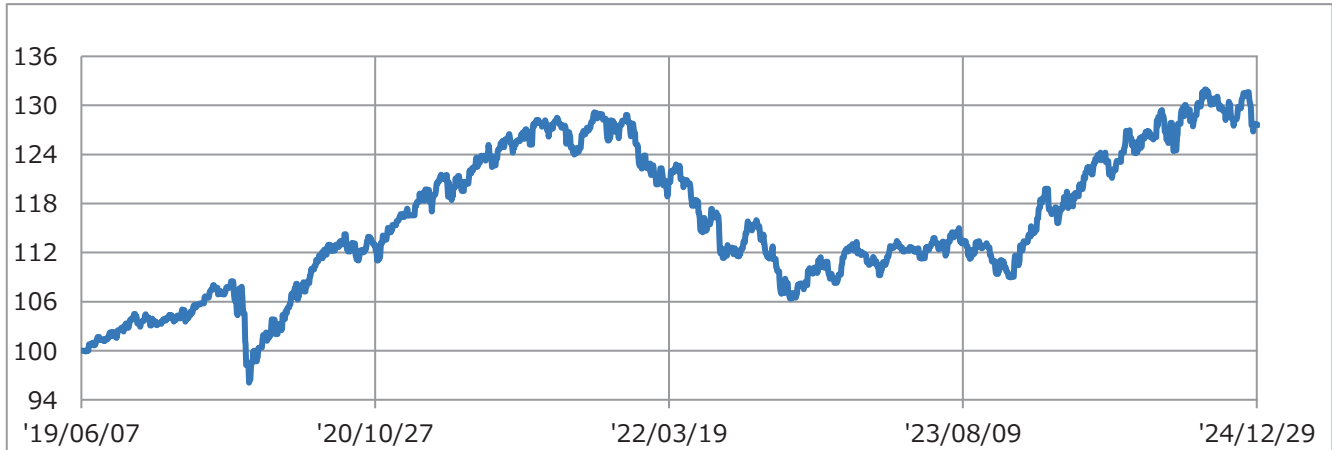
※騰落率は、ユニットプライスを元に「騰落率= { (終了日の価格-開始日の価格) ÷ 開始日の価格 } ×100」と計算し、小数第3位以下を切り捨てて表示しています。

※本書面のユニットプライスの表示は、リスクバランス型2016（10A-5）・リスクバランス型2015（10A-2）・リスクバランス型2016（11A-7）・リスクバランス型2015（11A-3）については、資産運用関係費用控除後です。

※ユニットプライスは、小数第8位まで算出しておりますが、ここでは小数第3位以下を切り捨てて表示しています。（騰落率の計算は小数第8位まで使用しています。）

リスク選好型（10A-3）

■ ユニットプライス推移グラフ



■ 設定日

2019年6月7日

■ ユニットプライス

2024年12月末

127.60

最高値	最低値
'24/10/01	'20/03/23
131.96	96.09

■ 資産状況

	残高(千円)	構成比
ファンド	1,163	97.18%
現預金等	33	2.82%
合計	1,197	100.00%

※残高は単位未満を切り捨て、構成割合は小数第3位を四捨五入して表示しています。

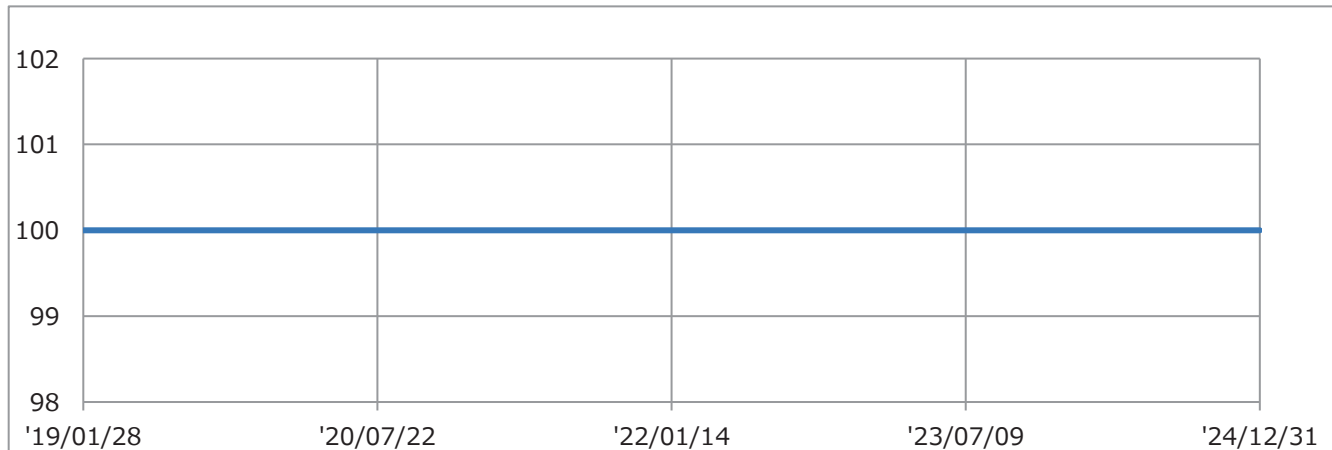
■ 騰落率

1か月前	3か月前	6か月前	1年前	設定来
-1.58%	-3.26%	1.17%	6.50%	27.60%

※騰落率は、ユニットプライスを元に「騰落率 = { (終了日の価格 - 開始日の価格) ÷ 開始日の価格 } × 100」と計算し、小数第3位以下を切り捨てて表示しています。

マネープール型（10A-4）

■ ユニットプライス推移グラフ



■ 設定日

2019年1月28日

■ ユニットプライス

2024年12月末

100.00

最高値	最低値
'19/01/28	'19/01/28
100.00	100.00

■ 資産状況

	残高(千円)	構成比
現預金	1,201	100.00%
合計	1,201	100.00%

※残高は単位未満を切り捨て、構成割合は小数第3位を四捨五入して表示しています。

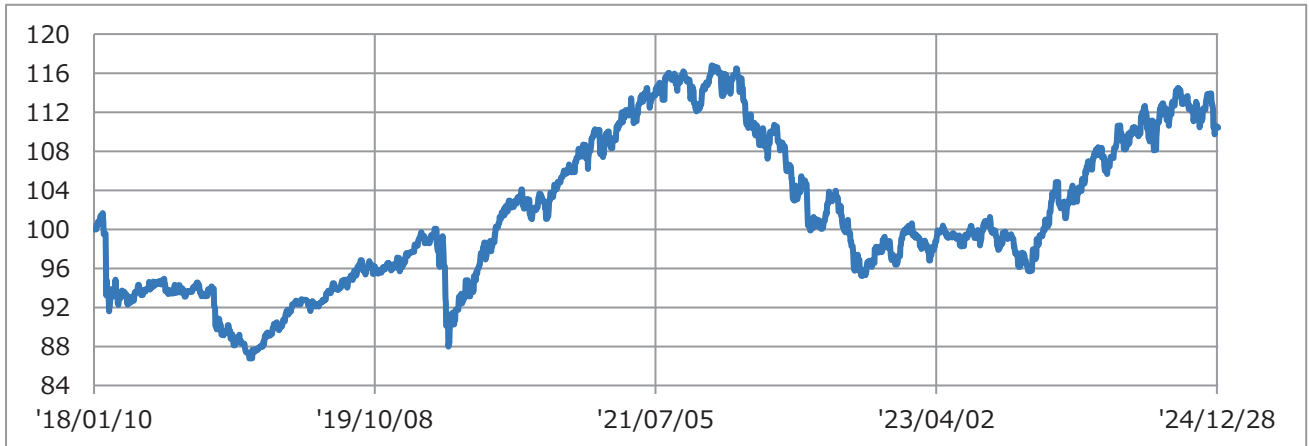
■ 騰落率

1か月前	3か月前	6か月前	1年前	設定来
0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

※騰落率は、ユニットプライスを元に「騰落率 = { (終了日の価格 - 開始日の価格) ÷ 開始日の価格 } × 100」と計算し、小数第3位以下を切り捨てて表示しています。

リスク選好型（11A-4）

■ ユニットプライス推移グラフ



■ 設定日

2018年1月10日

■ ユニットプライス

2024年12月末

110.42

最高値	最低値
'21/11/10	'19/01/03
116.79	86.78

■ 資産状況

	残高(千豪ドル)	構成比
ファンド	2,651	97.58%
現預金等	65	2.42%
合計	2,716	100.00%

※残高は単位未満を切り捨て、構成割合は小数第3位を四捨五入して表示しています。

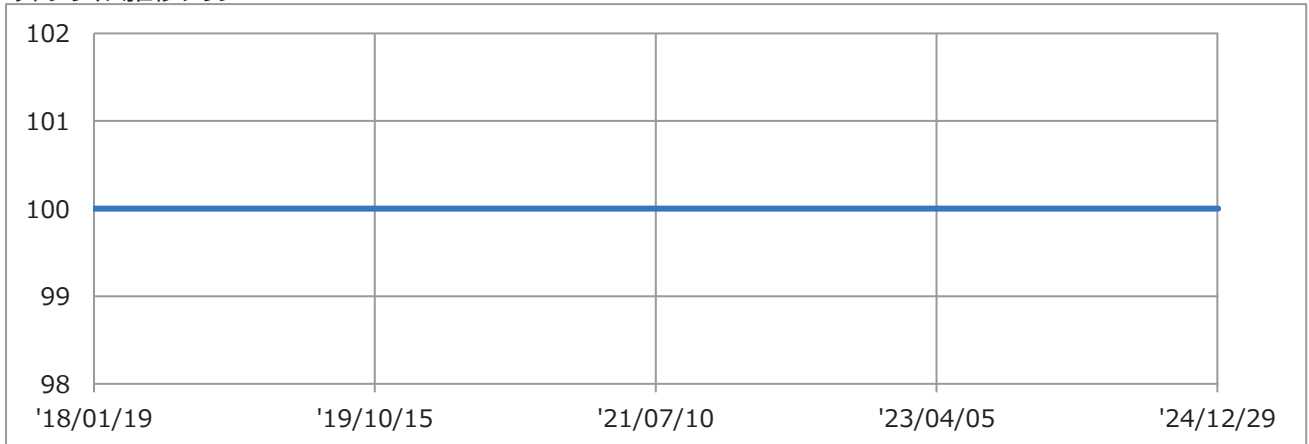
■ 騰落率

1か月前	3か月前	6か月前	1年前	設定来
-1.63%	-3.49%	0.54%	5.32%	10.42%

※騰落率は、ユニットプライスを元に「騰落率 = { (終了日の価格 - 開始日の価格) ÷ 開始日の価格 } × 100」と計算し、小数第3位以下を切り捨てて表示しています。

マネーパール型（11A-5）

■ ユニットプライス推移グラフ



■ 設定日

2018年1月19日

■ ユニットプライス

2024年12月末

100.00

最高値	最低値
'18/01/19	'18/01/19
100.00	100.00

■ 資産状況

	残高(千豪ドル)	構成比
現預金	4,925	100.00%
合計	4,925	100.00%

※残高は単位未満を切り捨て、構成割合は小数第3位を四捨五入して表示しています。

■ 騰落率

1か月前	3か月前	6か月前	1年前	設定来
0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

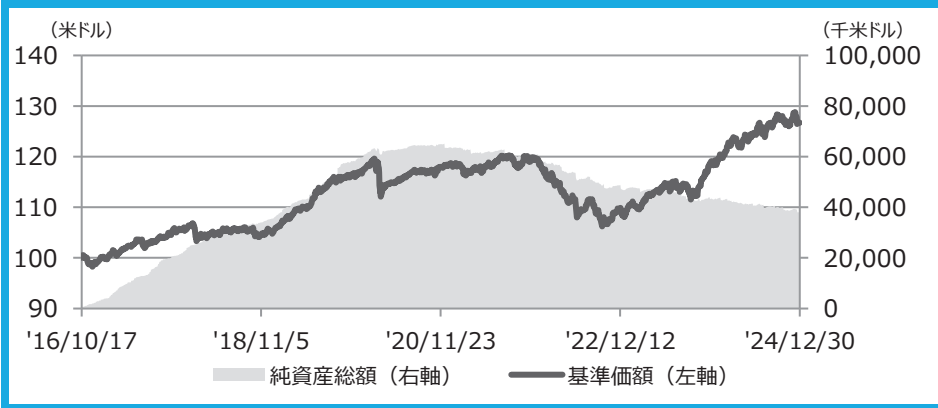
※騰落率は、ユニットプライスを元に「騰落率 = { (終了日の価格 - 開始日の価格) ÷ 開始日の価格 } × 100」と計算し、小数第3位以下を切り捨てて表示しています。

※本書面のユニットプライスの表示は、リスク選好型（10A-3・11A-4）は資産運用関係費用・保険関係費用控除後、マネーパール型（10A-4・11A-5）は保険関係費用控除後です。

※ユニットプライスは、小数第8位まで算出しておりますが、ここでは小数第3位以下を切り捨てて表示しています。（騰落率の計算は小数第8位まで使用しています。）

【特別勘定名】	リスクバランス型2016（10A-5）
【特別勘定が投資するファンド】	リクソー リスク・バランス・ゴールド・フィーダーファンド4（クラスUSD）
【運用会社】	SGクラインオート・ハンブロス・コーポレート・サービシーズ（シーアイ）・リミテッド

■ 基準価額等の推移



■ 基準価額

126.71米ドル

■ ファンド概要

設定日 ^(*)	'16/10/17
純資産総額	38,018千米ドル

* 設定日は当ファンドの運用を開始した日です。

* 基準価額と純資産総額は資産運用関係費用控除後の値です。

* 上記のグラフは過去の実績を示したものであり、将来の成果をお約束するものではありません。

■ 騰落率

	直近1か月	直近3か月	直近6か月	直近1年	直近3年	設定来
ファンド	-0.40%	-1.11%	1.73%	6.57%	5.90%	26.71%

* 騰落率は過去の実績を示したものであり、将来の成果をお約束するものではありません。

■ 資産構成と個別資産割合の状況

資産種類		リスク配分	投資対象（先物）	個別資産割合の履歴			
				当月末	前月末	前々月末	
株式	日本株式	50%	50%/3	日経225	5.70%	5.51%	5.18%
	米国株式		50%/3	S&P500種	8.99%	8.56%	8.16%
	欧州株式		50%/3	ユーロ・ストックス50指数	8.93%	9.57%	8.68%
債券	米国債券	40%	20%	米国10年国債	28.58%	28.89%	28.09%
	欧州債券		20%	ドイツ10年国債	27.97%	27.19%	27.09%
ゴールド		10%	10%	金	5.96%	6.41%	6.22%

* 上記の表の個別資産割合は、純資産総額に対する割合です。

■ 【参考情報】米ドル／円の騰落率

	直近1か月	直近3か月	直近6か月	直近1年	直近3年	設定来
米ドル/円	4.96%	9.45%	-2.29%	11.46%	36.60%	51.31%

■ 市況コメント

12月の金融市場では、欧州及び日本の株式市場は上昇した一方、米国の株式市場は下落しました。長期金利は米国及び欧州で共に上昇しました。こうした市場環境のもと、株式市場では、円安進行を好感したことなどから上昇した日本株式が前月比で+2.8%、中国の景気刺激策への期待などから上昇した欧州株式が前月比で+1.3%となった一方で、米国の長期金利の上昇等から下落した米国株式が前月比で-1.9%となりました。債券市場では、12月に開催されたFOMCで利下げペースの鈍化が示唆され米国の長期金利は上昇し米国債券が前月比で-2.0%、ECBの大幅利下げ観測が後退したこと等から欧州の長期金利は上昇し欧州債券が前月比で-1.0%となりました。また、米大統領選挙の結果を受けた不透明感の解消等から金は前月比で-0.6%となりました。為替市場では、米ドルは日本円に対して前月比で5.0%上昇しました。

・本資料は、外国投資法人である「リクソー リスク・バランス・ゴールド・フィーダーファンド4（クラスUSD）」（本資料では「ファンド」と記載しています。）の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集またはファンドの勧誘を目的としたものではありません。

・本資料に記載された過去の運用実績に関するいかなる内容も、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・本資料は、アムンディ・アセットマネジメントによる運用報告をソニー生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関してソニー生命保険株式会社は一切の責任を負いません。

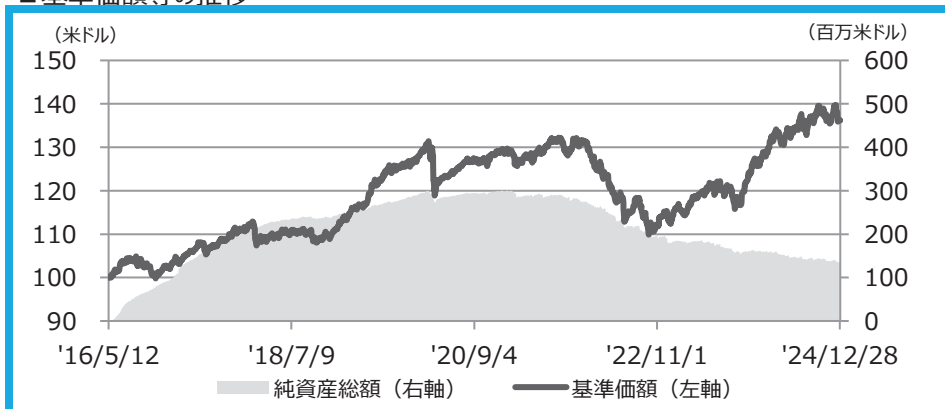
・本資料の内容はファンドにおける作成基準日の情報に基づいており、将来予告なく変更することがあります。

・本資料で使用している基準価額や騰落率等は、原則として資産運用関係費用控除後のものです。

・本資料中の各数値については、表示桁未満の数値がある場合、四捨五入して表示しています。

【特別勘定名】	リスクバランス型2015（10A-2）
【特別勘定が投資するファンド】	リクソー リスク・バランス・ゴールド・フィーダーファンド6（クラスUSD）
【運用会社】	SGクラインオート・ハンブロス・コーポレート・サービシーズ（シーアイ）・リミテッド

■ 基準価額等の推移



* 基準価額と純資産総額は資産運用関係費用控除後の値です。

* 上記のグラフは過去の実績を示したものであり、将来の成果をお約束するものではありません。

■ 基準価額

136.19米ドル

■ ファンド概要

設定日 ^(*)	'16/5/12
純資産総額	134,966千米ドル

* 設定日は当ファンドの運用を開始した日です。

■ 騰落率

	直近1か月	直近3か月	直近6か月	直近1年	直近3年	設定来
ファンド	-0.84%	-2.18%	1.32%	7.51%	3.72%	36.19%

* 騰落率は過去の実績を示したものであり、将来の成果をお約束するものではありません。

■ 資産構成と個別資産割合の状況

資産種類		リスク配分		投資対象（先物）	個別資産割合の履歴		
					当月末	前月末	前々月末
株式	日本株式	50%	50%/3	日経225	8.51%	8.29%	7.68%
	米国株式		50%/3	S&P500種	13.42%	12.90%	12.09%
	欧州株式		50%/3	ユーロ・ストックス50指数	13.33%	14.41%	12.87%
債券	米国債券	40%	20%	米国10年国債	42.66%	43.51%	41.63%
	欧州債券		20%	ドイツ10年国債	41.74%	40.95%	40.16%
ゴールド		10%	10%	金	8.90%	9.65%	9.22%

* 上記の表の個別資産割合は、純資産総額に対する割合です。

■ 【参考情報】米ドル／円の騰落率

	直近1か月	直近3か月	直近6か月	直近1年	直近3年	設定来
米ドル/円	4.96%	9.45%	-2.29%	11.46%	36.60%	44.19%

■ 市況コメント

12月の金融市場では、欧州及び日本の株式市場は上昇した一方、米国の株式市場は下落しました。長期金利は米国及び欧州で共に上昇しました。こうした市場環境のもと、株式市場では、円安進行を好感したことなどから上昇した日本株式が前月比で+2.8%、中国の景気刺激策への期待などから上昇した欧州株式が前月比で+1.3%となった一方で、米国の長期金利の上昇等から下落した米国株式が前月比で-1.9%となりました。債券市場では、12月に開催されたFOMCで利下げペースの鈍化が示唆され米国の長期金利は上昇し米国債券が前月比で-2.0%、ECBの大幅利下げ観測が後退したこと等から欧州の長期金利は上昇し欧州債券が前月比で-1.0%となりました。また、米大統領選挙の結果を受けた不透明感の解消等から金は前月比で-0.6%となりました。為替市場では、米ドルは日本円に対して前月比で5.0%上昇しました。

・本資料は、外国投資法人である「リクソー リスク・バランス・ゴールド・フィーダーファンド6（クラスUSD）」（本資料では「ファンド」と記載しています。）の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集またはファンドの勧誘を目的としたものではありません。

・本資料に記載された過去の運用実績に関するいかなる内容も、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・本資料は、アムンディ・アセットマネジメントによる運用報告をソニー生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関してソニー生命保険株式会社は一切の責任を負いません。

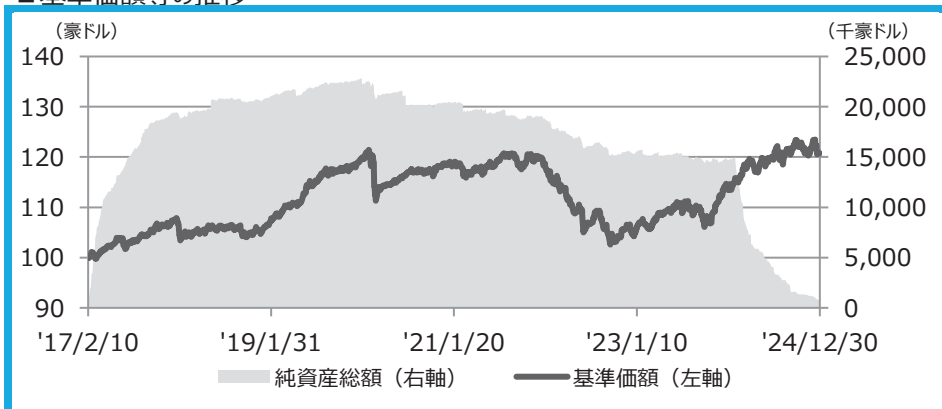
・本資料の内容はファンドにおける作成基準日の情報に基づいており、将来予告なく変更することがあります。

・本資料で使用している基準価額や騰落率等は、原則として資産運用関係費用控除後のものです。

・本資料中の各数値については、表示桁未満の数値がある場合、四捨五入して表示しています。

【特別勘定名】	リスクバランス型2016（11A-7）
【特別勘定が投資するファンド】	リクソー リスク・バランス・ゴールド・フィーダーファンド5（クラスAUD）
【運用会社】	SGクラインオート・ハンブロス・コーポレート・サービシーズ（シーアイ）・リミテッド

■ 基準価額等の推移



■ 基準価額

120.76豪ドル

■ ファンド概要

設定日 ^(*)	'17/2/10
純資産総額	783千豪ドル

* 設定日は当ファンドの運用を開始した日です。

* 基準価額と純資産総額は資産運用関係費用控除後の値です。
* 上記のグラフは過去の実績を示したものであり、将来の成果をお約束するものではありません。

■ 騰落率

ファンド	直近1か月	直近3か月	直近6か月	直近1年	直近3年	設定来
ファンド	-0.76%	-1.94%	0.82%	5.77%	0.71%	20.76%

* 騰落率は過去の実績を示したものであり、将来の成果をお約束するものではありません。

■ 資産構成と個別資産割合の状況

資産種類	リスク配分	投資対象（先物）	個別資産割合の履歴		
			当月末	前月末	前々月末
株式	50%	日経225	7.18%	6.82%	6.30%
		S&P500種	11.32%	10.60%	9.92%
		ユーロ・ストックス50指数	11.25%	11.85%	10.56%
債券	40%	米国10年国債	36.00%	35.77%	34.15%
		ドイツ10年国債	35.23%	33.67%	32.94%
ゴールド	10%	金	7.51%	7.93%	7.56%

* 上記の表の個別資産割合は、純資産総額に対する割合です。

■ 【参考情報】豪ドル/円の騰落率

	直近1か月	直近3か月	直近6か月	直近1年	直近3年	設定来
豪ドル/円	-0.22%	-2.02%	-9.33%	1.28%	16.26%	11.97%

■ 市況コメント

12月の金融市場では、欧州及び日本の株式市場は上昇した一方、米国の株式市場は下落しました。長期金利は米国及び欧州で共に上昇しました。こうした市場環境のもと、株式市場では、円安進行を好感したことなどから上昇した日本株式が前月比で+2.8%、中国の景気刺激策への期待などから上昇した欧州株式が前月比で+1.3%となった一方で、米国の長期金利の上昇等から下落した米国株式が前月比で-1.9%となりました。債券市場では、12月に開催されたFOMCで利下げペースの鈍化が示唆され米国の長期金利は上昇し米国債券が前月比で-2.0%、ECBの大幅利下げ観測が後退したこと等から欧州の長期金利は上昇し欧州債券が前月比で-1.0%となりました。また、米大統領選挙の結果を受けた不透明感の解消等から金は前月比で-0.6%となりました。為替市場では、豪ドルは日本円に対して前月比で0.2%下落しました。

・本資料は、外国投資法人である「リクソー リスク・バランス・ゴールド・フィーダーファンド5（クラスAUD）」（本資料では「ファンド」と記載しています。）の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集またはファンドの勧誘を目的としたものではありません。

・本資料に記載された過去の運用実績に関するいかなる内容も、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・本資料は、アムンディ・アセットマネジメントによる運用報告をソニー生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関してソニー生命保険株式会社は一切の責任を負いません。

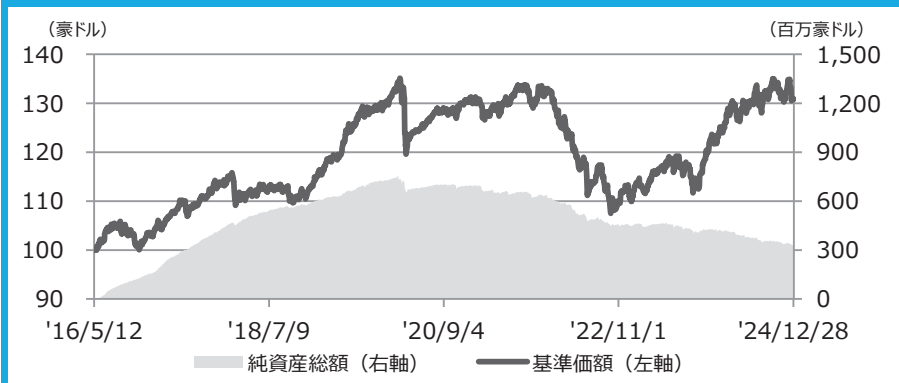
・本資料の内容はファンドにおける作成基準日の情報に基づいており、将来予告なく変更することがあります。

・本資料で使用している基準価額や騰落率等は、原則として資産運用関係費用控除後のものです。

・本資料中の各数値については、表示桁未満の数値がある場合、四捨五入して表示しています。

【特別勘定名】	リスクバランス型2015（11A-3）
【特別勘定が投資するファンド】	リクソー リスク・バランス・ゴールド・フィーダーファンド7（クラスAUD）
【運用会社】	SGクラインオート・ハンブロス・コーポレート・サービスズ（シーアイ）・リミテッド

■ 基準価額等の推移



* 基準価額と純資産総額は資産運用関係費用控除後の値です。

* 上記のグラフは過去の実績を示したものであり、将来の成果をお約束するものではありません。

■ 基準価額

130.84豪ドル

■ ファンド概要

設定日(*)	'16/5/12
純資産総額	330,092千豪ドル

* 設定日は当ファンドの運用を開始した日です。

■ 騰落率

	直近1か月	直近3か月	直近6か月	直近1年	直近3年	設定来
ファンド	-1.07%	-2.82%	0.48%	6.52%	-1.29%	30.84%

* 騰落率は過去の実績を示したものであり、将来の成果をお約束するものではありません。

■ 資産構成と個別資産割合の状況

資産種類	リスク配分	投資対象（先物）	個別資産割合の履歴		
			当月末	前月末	前々月末
株式	50%	日経225	9.74%	9.39%	8.81%
		S&P500種	15.35%	14.60%	13.86%
		ユーロ・ストック50指数	15.25%	16.32%	14.75%
債券	40%	米国10年国債	48.80%	49.27%	47.71%
		ドイツ10年国債	47.76%	46.37%	46.02%
ゴールド	10%	金	10.18%	10.92%	10.57%

* 上記の表の個別資産割合は、純資産総額に対する割合です。

■ 【参考情報】豪ドル/円の騰落率

	直近1か月	直近3か月	直近6か月	直近1年	直近3年	設定来
豪ドル/円	-0.22%	-2.02%	-9.33%	1.28%	16.26%	21.83%

■ 市況コメント

12月の金融市場では、欧州及び日本の株式市場は上昇した一方、米国の株式市場は下落しました。長期金利は米国及び欧州で共に上昇しました。こうした市場環境のもと、株式市場では、円安進行を好感したことなどから上昇した日本株式が前月比で+2.8%、中国の景気刺激策への期待などから上昇した欧州株式が前月比で+1.3%となった一方で、米国の長期金利の上昇等から下落した米国株式が前月比で-1.9%となりました。債券市場では、12月に開催されたFOMCで利下げペースの鈍化が示唆され米国の長期金利は上昇し米国債券が前月比で-2.0%、ECBの大幅利下げ観測が後退したこと等から欧州の長期金利は上昇し欧州債券が前月比で-1.0%となりました。また、米大統領選挙の結果を受けた不透明感の解消等から金は前月比で-0.6%となりました。為替市場では、豪ドルは日本円に対して前月比で0.2%下落しました。

・本資料は、外国投資法人である「リクソー リスク・バランス・ゴールド・フィーダーファンド7（クラスAUD）」（本資料では「ファンド」と記載しています。）の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集またはファンドの勧誘を目的としたものではありません。

・本資料に記載された過去の運用実績に関するいかなる内容も、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・本資料は、アムンディ・アセットマネジメントによる運用報告をソニー生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関してソニー生命保険株式会社は一切の責任を負いません。

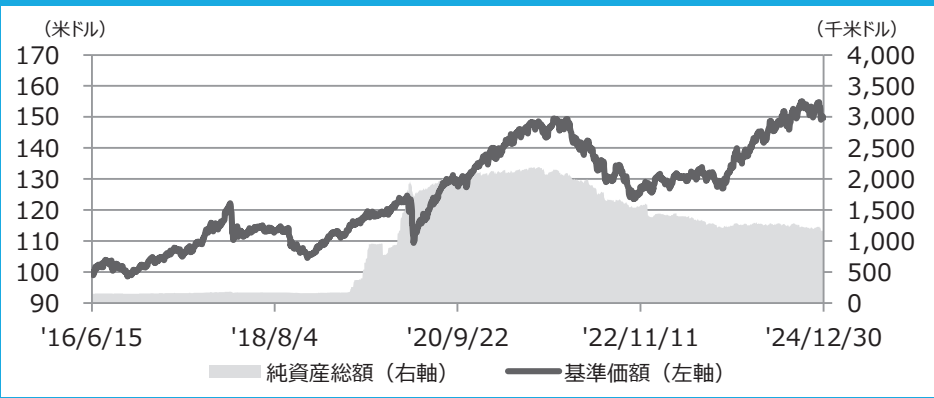
・本資料の内容はファンドにおける作成基準日の情報に基づいており、将来予告なく変更することがあります。

・本資料で使用している基準価額や騰落率等は、原則として資産運用関係費用控除後のものです。

・本資料中の各数値については、表示桁未満の数値がある場合、四捨五入して表示しています。

【特別勘定名】	リスク選好型（10A-3）
【特別勘定が投資するファンド】	リクソー・インベストメント・ファンズ・フレキシブル・アロケーション クラスAS（米ドル）
【運用会社】	アムンディ・アセットマネジメント

■ 基準価額等の推移



■ 基準価額

149.72米ドル

■ ファンド概要

設定日(*)	'16/6/15
純資産総額	1,161千米ドル

* 設定日は当ファンドの運用を開始した日です。

* 基準価額と純資産総額は資産運用関係費用控除後の値です。

* 上記のグラフは過去の実績を示したものであり、将来の成果をお約束するものではありません。

■ 騰落率

	直近1か月	直近3か月	直近6か月	直近1年	直近3年	設定来
ファンド	-2.54%	-3.04%	1.37%	8.02%	0.25%	49.72%

* 騰落率は過去の実績を示したものであり、将来の成果をお約束するものではありません。

■ 資産構成と個別資産割合の状況

資産種類	投資対象（先物・ETF・スワップ）	個別資産割合の履歴			
		当月末	前月末	前々月末	
株式	日本株式	日経225	51.25%	51.80%	47.76%
	米国株式	S&P500種			
	英国株式	FTSE100種総合株価指数			
	欧州株式	ユーロ・ストックス50指数			
	新興国株式	MSCI新興国株価指数			
	欧州	低ボラティリティ株式スワップ クオリティ株式スワップ モメンタム株式スワップ			
債券	米国債券	米国10年国債	45.61%	54.38%	54.64%
	英国債券	英国10年国債			
	欧州債券	ドイツ10年国債			
	カナダ債券	カナダ10年国債			
コモディティ	金・銅・原油	14.35%	15.13%	17.03%	
クレジット	米国	米国ハイイールド指数ETF	9.61%	9.81%	10.14%
	欧州	欧州ハイイールド指数ETF			
	新興国	新興国債券指数ETF			

* 上記の表の個別資産割合は、純資産総額に対する割合です。

■ 市況コメント

12月の金融市場では、欧州及び日本の株式市場は上昇した一方、米国の株式市場は下落しました。長期金利は米国及び欧州で共に上昇しました。こうした市場環境のもと、株式市場では、前月比で日本が+2.8%、米国が-1.9%、英国が-1.4%、欧州が+1.3%、新興国が-1.5%となりました。また、欧州の低ボラティリティ株式、クオリティ株式、モメンタム株式は前月比でそれぞれ、-1.3%、-0.7%、変わらずとなりました。債券市場では、前月比で米国が-2.0%、英国が-3.6%、欧州が-1.0%、カナダが-0.2%となりました。コモディティ市場では、前月比で金が-2.0%、銅が-0.8%、原油が+3.4%となりました。クレジット市場では、前月比で米国ハイイールド債が-1.7%、欧州ハイイールド債が+0.2%、新興国債券が-3.4%となりました。為替市場では、米ドルは日本円に対して前月比で5.0%上昇しました。

・本資料は、外国投資法人である「リクソー・インベストメント・ファンズ・フレキシブル・アロケーション クラスAS（米ドル）」（本資料では「ファンド」と記載しています。）の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集またはファンドの勧誘を目的としたものではありません。

・本資料に記載された過去の運用実績に関するいかなる内容も、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・本資料は、アムンディ・アセットマネジメントによる運用報告をソニー生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関してソニー生命保険株式会社は一切の責任を負いません。

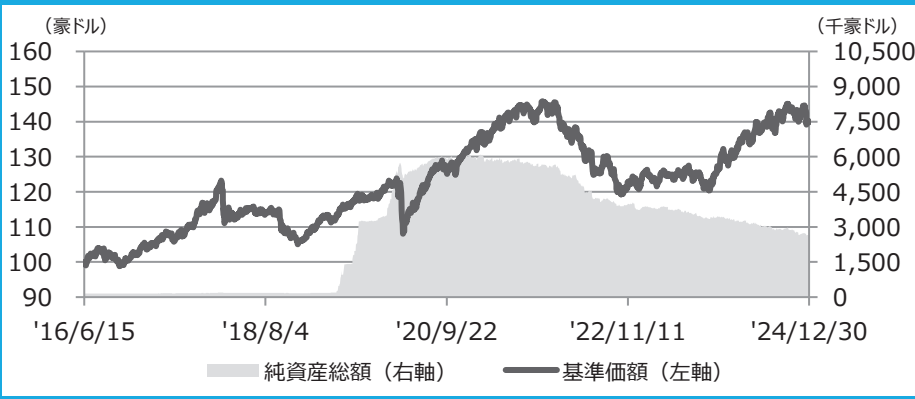
・本資料の内容はファンドにおける作成基準日の情報に基づいており、将来予告なく変更することがあります。

・本資料で使用している基準価額や騰落率等は、原則として資産運用関係費用控除後のものです。

・本資料中の各数値については、表示桁未満の数値がある場合、四捨五入して表示しています。

【特別勘定名】	リスク選好型（11A-4）
【特別勘定が投資するファンド】	リクソー・インベストメント・ファンズ・フレキシブル・アロケーション クラスAS（豪ドル）
【運用会社】	アムンディ・アセットマネジメント

■ 基準価額等の推移



■ 基準価額

139.78豪ドル

■ ファンド概要

設定日(*)	'16/6/15
純資産総額	2,646千豪ドル

* 設定日は当ファンドの運用を開始した日です。

* 基準価額と純資産総額は資産運用関係費用控除後の値です。

* 上記のグラフは過去の実績を示したものであり、将来の成果をお約束するものではありません。

■ 騰落率

	直近1か月	直近3か月	直近6か月	直近1年	直近3年	設定来
ファンド	-2.61%	-3.27%	0.71%	6.69%	-3.93%	39.78%

* 騰落率は過去の実績を示したものであり、将来の成果をお約束するものではありません。

■ 資産構成と個別資産割合の状況

資産種類	投資対象（先物・ETF・スワップ）	個別資産割合の履歴			
		当月末	前月末	前々月末	
株式	日本株式	日経225	51.25%	51.80%	47.76%
	米国株式	S&P500種			
	英国株式	FTSE100種総合株価指数			
	欧州株式	ユーロ・ストックス50指数			
	新興国株式	MSCI新興国株価指数			
	欧州	低ボラティリティ株式スワップ クオリティ株式スワップ モメンタム株式スワップ			
債券	米国債券	米国10年国債	45.61%	54.38%	54.64%
	英国債券	英国10年国債			
	欧州債券	ドイツ10年国債			
	カナダ債券	カナダ10年国債			
コモディティ	金・銅・原油	14.35%	15.13%	17.03%	
クレジット	米国	米国ハイールド指数ETF	9.61%	9.81%	10.14%
	欧州	欧州ハイールド指数ETF			
	新興国	新興国債券指数ETF			

* 上記の表の個別資産割合は、純資産総額に対する割合です。

■ 市況コメント

12月の金融市場では、欧州及び日本の株式市場は上昇した一方、米国の株式市場は下落しました。長期金利は米国及び欧州で共に上昇しました。こうした市場環境のもと、株式市場では、前月比で日本が+2.8%、米国が-1.9%、英国が-1.4%、欧州が+1.3%、新興国が-1.5%となりました。また、欧州の低ボラティリティ株式、クオリティ株式、モメンタム株式は前月比でそれぞれ、-1.3%、-0.7%、変わらずとなりました。債券市場では、前月比で米国が-2.0%、英国が-3.6%、欧州が-1.0%、カナダが-0.2%となりました。コモディティ市場では、前月比で金が-2.0%、銅が-0.8%、原油が+3.4%となりました。クレジット市場では、前月比で米国ハイールド債が-1.7%、欧州ハイールド債が+0.2%、新興国債券が-3.4%となりました。為替市場では、豪ドルは日本円に対して前月比で0.2%下落しました。

・本資料は、外国投資法人である「リクソー・インベストメント・ファンズ・フレキシブル・アロケーション クラスAS（豪ドル）」（本資料では「ファンド」と記載しています。）の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集またはファンドの勧誘を目的としたものではありません。

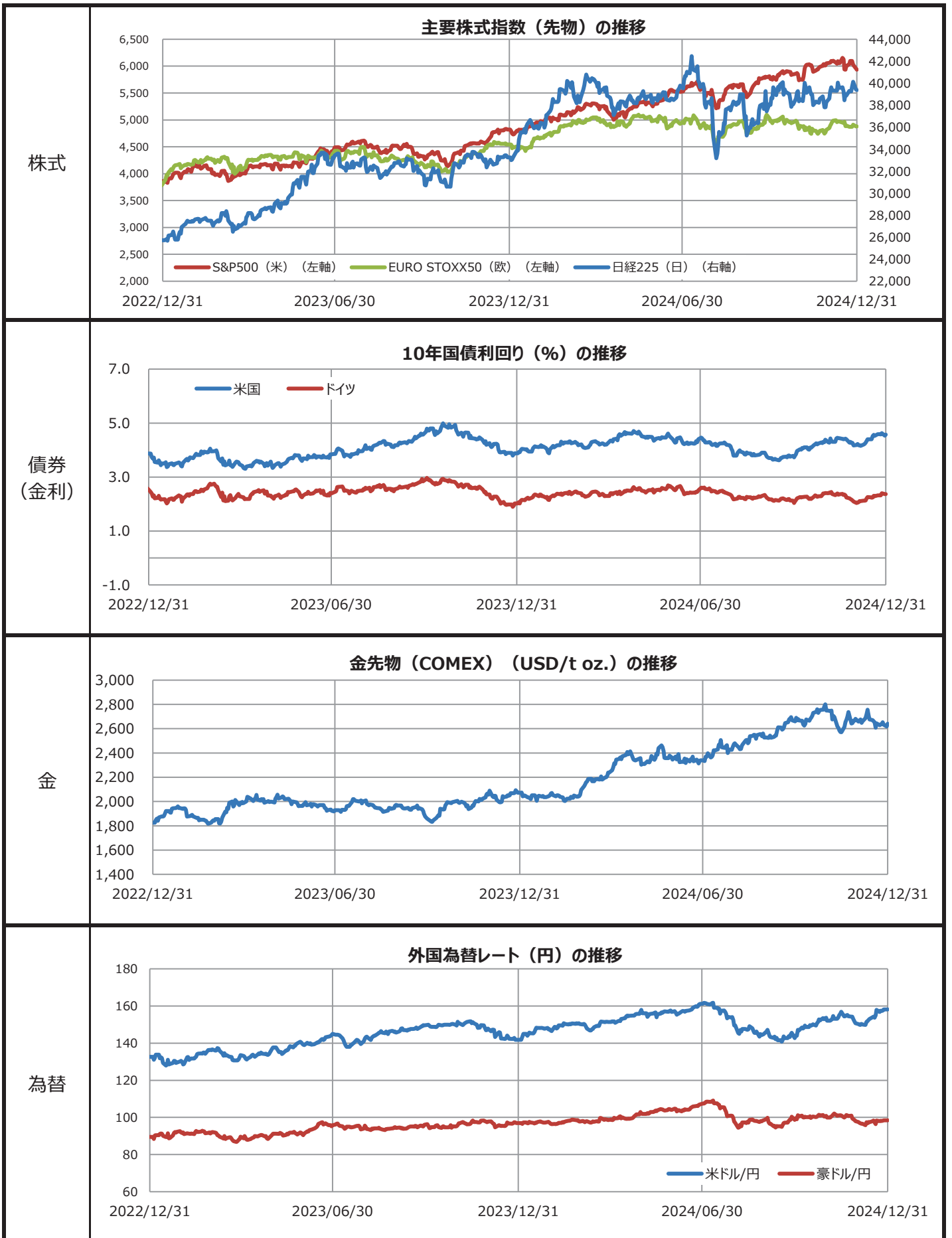
・本資料に記載された過去の運用実績に関するいかなる内容も、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・本資料は、アムンディ・アセットマネジメントによる運用報告をソニー生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関してソニー生命保険株式会社は一切の責任を負いません。

・本資料の内容はファンドにおける作成基準日の情報に基づいており、将来予告なく変更することがあります。

・本資料で使用している基準価額や騰落率等は、原則として資産運用関係費用控除後のものです。

・本資料中の各数値については、表示桁未満の数値がある場合、四捨五入して表示しています。



※当ページに記載している各指数などのグラフについては、Bloombergのデータに基づき当社が作成したのですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、資料中のデータは過去の実績であり、将来の市場動向または運用成果等を予測または保証するものではありません。

【投資リスク・為替リスクについて】

- この保険は、特別勘定の運用実績に基づき、積立金額、年金額、死亡給付金額および解約返戻金額などが変動します。特別勘定の資産運用では、主に国内外の株式、債券、コモディティおよび短期金融商品などに投資します。このため、株価変動リスク、金利変動リスク、信用リスク、カントリーリスク、為替変動リスク、デリバティブ取引のリスクなどの投資リスクがあります。これらの投資リスクにより、この商品で最低保証の対象とならない解約返戻金等でお受け取りいただく金額の合計は、一時払保険料の金額を下回り、損失が生じるおそれがあります。
- この保険では、死亡給付金額および年金原資額について基本給付金額と同額が契約通貨建てで最低保証されます。ただし、ベースアカウントの積立金を一部解約された場合には、一部解約分の解約返戻金額および一部解約後の年金原資額の合計額が一時払保険料を下回る可能性があります。
- なお為替相場の変動により、お支払い時の為替レートで円貨に換算した年金原資額、死亡給付金額および解約返戻金額がご契約時の為替レートで円貨に換算した金額や一時払保険料相当額を下回り、損失が生じるおそれがあります。
- 生命保険会社の業務または財産の状況の変化により、ご契約時にお約束した保険金額、年金額等が削減されることがあります。

【諸費用について】

この保険にかかる費用は、ご契約時にご負担いただく費用、据置期間中にご負担いただく費用、年金支払期間中にご負担いただく費用および外貨のお取り扱いによりご負担いただく費用の合計額となります。下記の内容は、将来変更されることがあります。

■ ご契約時にご負担いただく費用 <運用成果受取コース（Ⅰ型）> <積極運用コース（Ⅱ型）>

項目	目的	費用			時期
		据置期間 7年	据置期間 10年	据置期間 15年	
契約初期費用	ご契約の締結等にかかる費用です。	一時払保険料 に対して 4.5%	一時払保険料 に対して 5.5%	一時払保険料 に対して 6.0%	特別勘定（基本部分）への繰り入れ前に、一時払保険料から差し引きます。

■ 据置期間中にご負担いただく費用

【特別勘定（基本部分）】<運用成果受取コース（Ⅰ型）> <積極運用コース（Ⅱ型）>

項目	目的	費用	時期
特別勘定（基本部分）の保険関係費用	ご契約の締結・維持等に必要となる費用、年金原資および死亡給付金を最低保証するための費用です。	契約通貨、被保険者の性別、契約日における被保険者の満年齢および据置期間に応じて異なるため、一律に記載することが困難です。詳しくは、次ページの表をご覧ください。	基本給付金額に対して次ページの表の年率の1/12を乗じた金額を積立金（基本部分）から特別勘定繰入日未および契約日の月単位の応当日末に差し引きます。
特別勘定（基本部分）の資産運用関係費用*	特別勘定（基本部分）の運用にかかわる費用で、特別勘定（基本部分）で主に利用するファンドの管理費用等です。	特別勘定（基本部分）が投資対象とするファンドの信託財産に対して年率0.34%程度（非課税）	特別勘定（基本部分）が投資対象とするファンドの信託財産に対して左記の年率を乗じた額を信託財産から日割りで毎日差し引きます。

* 特別勘定（基本部分）の資産運用関係費用は、主たる投資対象である外国投資法人（ジャージー籍）の管理費用等を記載しております。このほか、有価証券等の売買取引に伴う手数料等がかかる場合がありますが、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。これらの費用は特別勘定がその保有資産から負担するため、特別勘定のユニットプライスに反映されることとなります。したがって、ご契約者にはこれらの費用を間接的にご負担いただくこととなります。資産運用関係費用は運用手法の変更や運用資産額の変動などの理由により、将来変更される可能性があります。資産運用関係費用につきまして、詳しくは「特別勘定のしおり」をご確認ください。

【米ドル建】特別勘定（基本部分）の保険関係費用 基本給付金額に対する年率表

被保険者の性別および 契約日における満年齢		据置期間		
		7年	10年	15年
男性	0歳～50歳	3.76%	3.27%	2.15%
	51歳～60歳	3.85%	3.36%	2.22%
	61歳～65歳	3.98%	3.48%	2.35%
	66歳～70歳	4.13%	3.64%	2.51%
	71歳～75歳	4.40%	3.95%	2.87%
	76歳～80歳	5.03%	4.68%	
女性	0歳～50歳	3.74%	3.25%	2.13%
	51歳～60歳	3.78%	3.29%	2.16%
	61歳～65歳	3.83%	3.34%	2.20%
	66歳～70歳	3.89%	3.40%	2.27%
	71歳～75歳	4.02%	3.54%	2.43%
	76歳～80歳	4.33%	3.88%	

【豪ドル建】特別勘定（基本部分）の保険関係費用 基本給付金額に対する年率表

被保険者の性別および 契約日における満年齢		据置期間		
		7年	10年	15年
男性	0歳～50歳	2.98%	2.55%	1.91%
	51歳～60歳	3.02%	2.59%	1.96%
	61歳～65歳	3.08%	2.67%	2.04%
	66歳～70歳	3.15%	2.76%	2.13%
	71歳～75歳	3.28%	2.92%	2.35%
	76歳～80歳	3.60%	3.32%	
女性	0歳～50歳	2.97%	2.54%	1.90%
	51歳～60歳	2.98%	2.56%	1.92%
	61歳～65歳	3.01%	2.58%	1.95%
	66歳～70歳	3.03%	2.63%	1.99%
	71歳～75歳	3.09%	2.71%	2.09%
	76歳～80歳	3.24%	2.88%	

【特別勘定（成果部分）】＜積極運用コース（Ⅱ型）＞

ご注意：

積極運用コース（Ⅱ型）を指定された場合、運用成果相当額が初めて特別勘定（成果部分）に移転された時から、特別勘定（基本部分）の費用に加えて、特別勘定（成果部分）の保険関係費用および特別勘定（成果部分）の資産運用関係費用をご契約者にご負担いただきます。

項目	目的	費用	時期
特別勘定（成果部分）の保険関係費用	特別勘定（成果部分）の維持等に必要の費用です。	積立金額（成果部分）に対して年率0.50%	積立金額（成果部分）に対して左記の年率の1/365を乗じた額を積立金（成果部分）から毎日差し引きます。
特別勘定（成果部分）の資産運用関係費用*	特別勘定（成果部分）の運用にかかわる費用で、特別勘定（成果部分）で主に利用するファンドの管理費用等です。	特別勘定（成果部分）が投資対象とするファンドの信託財産に対して年率0.85%程度（消費税対象外）	特別勘定（成果部分）が投資対象とするファンドの信託財産に対して左記の年率を乗じた額を信託財産から日割りで毎日差し引きます。

* 特別勘定（成果部分）の資産運用関係費用は、主たる投資対象である外国投資法人（ルクセンブルク籍）の管理費用等および信託財産に関する相続（年次税）を記載しています。このほか、有価証券等の売買取引に伴う手数料等がかかる場合がありますが、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。これらの費用は特別勘定がその保有資産から負担するため、特別勘定のユニットプライスに反映されることとなります。したがって、ご契約者にはこれらの費用を間接的にご負担いただくこととなります。資産運用関係費用につきまして、詳しくは「特別勘定のしおり」をご確認ください。

【特別勘定（特約部分）】＜運用成果受取コース（Ⅰ型）＞

ご注意：

運用成果受取コース（Ⅰ型）を指定、かつ為替ターゲット支払特約が付加された場合で、判定期間中に積立金額（基本部分）が基準値に到達したときの運用成果額について、運用成果額が初めて特別勘定（特約部分）に移転された時から、特別勘定（基本部分）の費用に加えて、特別勘定（特約部分）の保険関係費用をご契約者にご負担いただきます。

項目	目的	費用	時期
特別勘定（特約部分）の保険関係費用	特別勘定（特約部分）の維持等に必要費用です。	積立金額（特約部分）に対して年率0.50%（上限）*	積立金額（特約部分）に対して左記の年率の1/365を乗じた額を積立金（特約部分）から毎日差し引きます。

* 特別勘定（特約部分）の保険関係費用は、この特別勘定の投資先資産の利回りをご負担いただくものとし、年率0.50%を上限とします。

■ ご契約の解約、積立金（基本部分）の減額、積立金（成果部分）・積立金（特約部分）の特別減額の際にご負担いただく費用

この保険では、ご契約の解約、積立金（基本部分）の減額、積立金（成果部分）・積立金（特約部分）の特別減額の際にご負担いただく費用（解約控除等）はありません。

■ 年金支払期間中にご負担いただく費用＜運用成果受取コース（Ⅰ型）＞＜積極運用コース（Ⅱ型）＞

遺族年金支払特約による年金支払を行う場合を含みます。

項目	目的	費用	時期
年金管理費用	年金のお支払いの管理にかかる費用です。	支払年金額に対して、年金の受取通貨が円の場合は0.25%、米ドルまたは豪ドルの場合は0.50%（2024年4月現在） （商品によって、選択できる通貨は異なります。）	年金支払開始日以後、年金支払日に保険料積立金から差し引きます。

ご注意：年金管理費用は、年金支払開始日（遺族年金支払特約による年金支払の場合は年金基金設定日）に定める率を適用するため、将来変更する可能性があります。

■ 外貨のお取り扱いによりご負担いただく費用

- 一時払保険料を外貨でお払い込みになる際、金融機関への振込手数料のほかにも手数料をご負担いただく場合があります。また、年金等を外貨でお受け取りになる場合にも手数料をご負担いただくことがあります。詳しくは、取扱金融機関にご確認ください。
- 年金および死亡給付金などを円貨でお受け取りになる場合には、外国為替手数料をご負担いただくことになります。当社所定の為替レート（下表）とTTM（対顧客電信売相場仲値）との差額が、外国為替手数料となります。

為替レートの種類	米ドル	豪ドル
「円貨支払レート」 （円貨支払特約の為替レート） 「判定為替レート」 （為替ターゲット支払特約で運用成果額の取り扱いを決める際に用いる為替レート）	TTM - 1 銭	TTM - 3 銭

※ TTMは、当社所定の金融機関が公示するその日の最初のTTS（対顧客電信売相場）とTTB（対顧客電信買相場）との中間の値となります。

ご注意：外国為替手数料は将来変更されることがあります。

■ その他のご留意事項

- * 変額個人年金保険（外貨建年金原資保証型2015）Ⅰ型/Ⅱ型「キャッチポイントV」は当社を引受保険会社とする生命保険商品です。預金とは異なり、元本保証はありません。また、預金保険制度の対象ではありません。
- * このレポートは特別勘定の運用状況を開示するためのものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- * ご検討にあたっては、「商品パンフレット」「契約締結前交付書面（契約概要／注意喚起情報）」を必ずお読みいただき、内容を十分にご理解ください。ご契約に際しては、「商品パンフレット」「契約締結前交付書面（契約概要／注意喚起情報）」「ご契約のしおり・約款」「特別勘定のしおり」を必ずご確認ください。
- * この保険は、変額保険販売資格・外貨建保険販売資格をもった担当者がお取り扱いします。

<募集代理店>

<引受保険会社>

ソニー生命保険株式会社

〒100-8179 東京都千代田区大手町1-9-2
大手町フィナンシャルシティ グランキューブ

ホームページ www.sonymlife.co.jp/

担当者の身分・権限等についてのお問い合わせは下記のフリーダイヤルをご利用ください。

〈カスタマーセンター〉 ☎0120-955-900

個人情報の保護に関する法律の定めに基づき、契約内容に関するお問い合わせは保険契約者ご本人様からお願いしております。なお、お問い合わせの際は、保険証券などの「証券番号」が分かるものをご用意ください。